

秋川 やすらぎの里 とうげん橋ボルダー Ver.2.0 増補改訂版

令和2年3月14日 RCT/K

このボルダー群のAからL岩までは、以前紹介したことがあるが、その後苔が付き、下地も荒れてしまったため、トライされることはなかった。しかし昨年3月、下流のボルダートライの際、とうげん橋上流のチャートボルダー(A,B,C)を再度確認してみると、追加課題ができそうであった。その後、長野の実家からの帰京期間に何日かトライした結果、5月頃までに、新しい課題が幾つか設定できた。

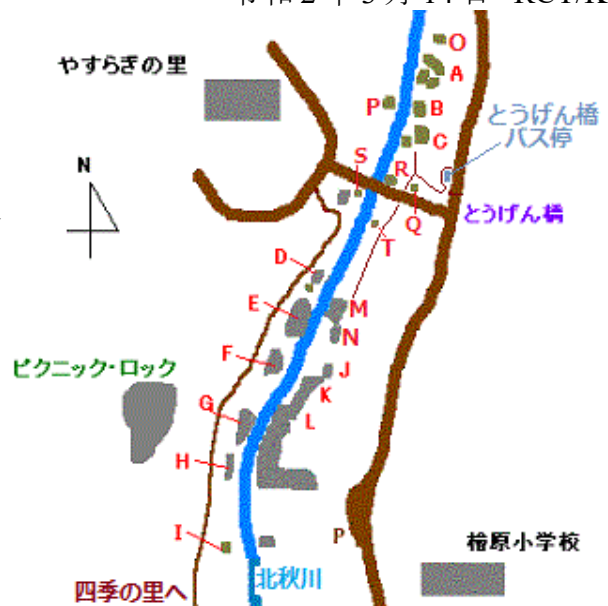
その後、また暫く行く機会はなかったが、台風19号の後、通りがかりに確認してみると、台風による土砂で河床が上がり、以前トライできなかったM岩とN岩の前に砂地が現れていた。この機会を逃すと、今後、川の氾濫などで、再度下地の状態が悪くなることも考えられるので、今年に入り、早めに、他のボルダーも含めて全体的に整備を行いトライしてみた。

一応新しいボルダーと課題も増え、まずまず楽しめるエリアとして再生できたので、未解決の課題はあるが、これまでの記録をまとめて紹介したい。なお以前紹介した記録は改訂版に含まれるのでHPより削除した。

岩質は、T岩より上流とI岩はチャートで、D岩より下流H岩までは石灰岩である。一部脆い部分はあるが、概ねしっかりしている。大きさは大小様々で、スラブからハングまで変化に富んでいる。

アクセス及び駐車位置などは以前と同様で、バスでも可能だが、クラッシュパッドのことなどを考慮すると、車利用が便利である。檜原村の橋橋交差点から右に北秋川方面に入り、檜原小学校先の駐車スペースに置く。アプローチに関しては、水嵩が高くなっている時は、右岸と左岸双方向への飛び石伝いの移動は危ないので、左岸のボルダーは、バス停小屋の裏を回り込み、橋の下の踏み跡を降りていく。右岸のボルダーは、とうげん橋を渡り、遊歩道を下れば問題ないが、弘沢の滝駐車場または「四季の里」前の駐車スペースからもアプローチ可能である。

ゴミに関しては、トライ時にボルダー周りは一通り回収したが、上流部は台風後また多量に流れてきて溜まっている。また、道路上から捨てられたものが崖に散乱している。見た目が良くないので、今後、機会があったら回収したい。



《課題紹介》

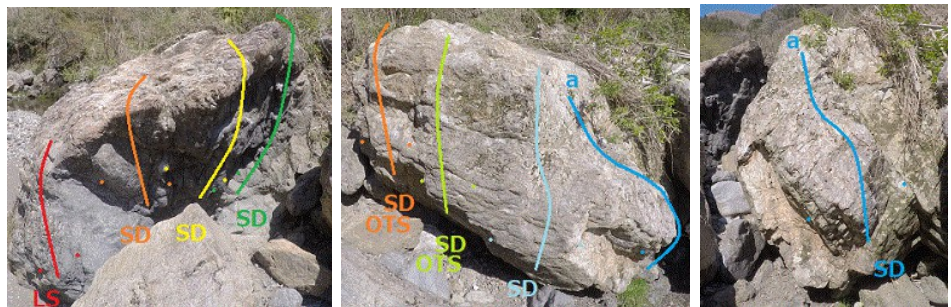
●A-a 岩(上流側の岩) & A-b 岩(下流側の岩)

トポ左:A-a 岩 中央:A-b 岩川側 右:A-b 岩下流側

A-a 岩は、昔トライしたボルダー。下流側が黒い前傾フェイス。脆そうに見えるが意外としっかりしている。

緑はガバのアンダーを繋ぐライン。黄色ラインは右上のカチを取ってから

左手を上を飛ばす。赤ラインはスタートで両足を上げてから、右手をカンテの丸く甘いホールドに飛ばす。このラインは増水すると取り付きが水没しそうである。



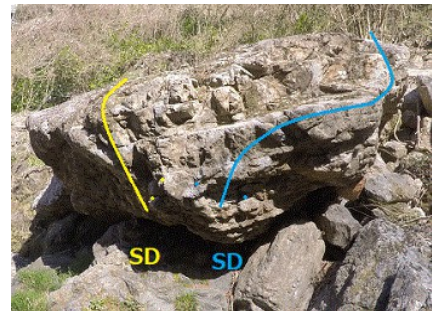
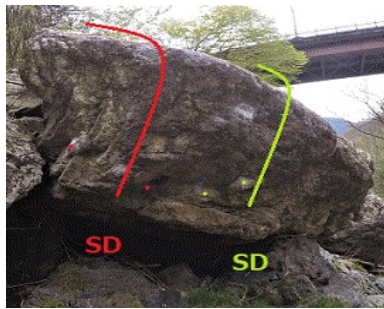
A-b 岩は、高さはなく、各課題は適当に腰を下ろして、SD でスタートする。

下流側の青ラインは、1 手目右手を上丸いカンテに飛ばす。このラインは水嵩が増すと水没してしまう。

●B 岩

昔トライしたボルダー。高さはないが、SD スタートの 4 本の課題はパワフルでそこそこ面白い。

上流側の赤ライン(課題名:牡丹)は、昔登った課題だが、再度トライしてみたらず昔のムーヴが全くできなかつた。左腕の慢性的故障もあるが、パワーの衰えを身に染みて感じる今日この頃である。一応新たに考えたムーヴで解決してみた。黄緑ラインの課題名は「野ばら」。



●C 岩

トポ左:上側 トポ右:ルーフ内

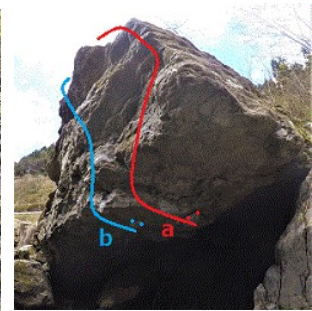
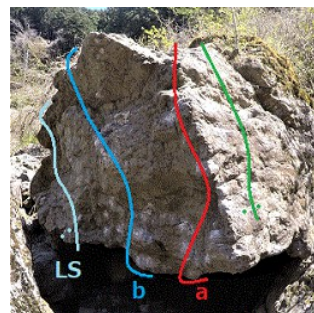
昔トライしたボルダー。岩の下部が完全にルーフ状の洞穴になっているボルダーらしい岩。ルーフ内にはホールドがいろいろあり、今後高難度の課題ができる可能性を秘めている。

なお、奥にあった動いて落ちそうな浮石を落とした際、aラインのスタートで使うフレック状ホールドも体重をかけると動くので、強化セメントで固めた。

課題は、トポの通り 4 本あり、a(課題名:シラス)と b ライン(課題名:御代替わり)が面白い。

a ラインは、昔、苦勞なく登ったラインだが、今回は必死で何とか登ることができた。ルーフ内の顕著なガバホールドからスタートする。a ラインをさらに奥からスタートするラインは、ムーヴは繋がったがクリアーできておらず未解決である。

b ラインは、昔、リップ上のガバからのスタートだったが、今回はルーフ内の両手指のかかるホールドからスタートした。スタートで足を a のスタートホールド辺りに決めてから、リップのガバホールドを取る。

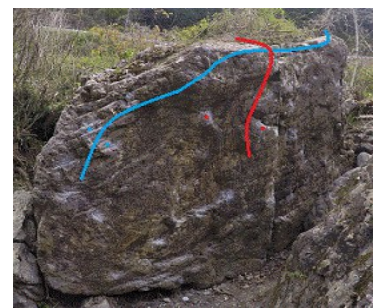
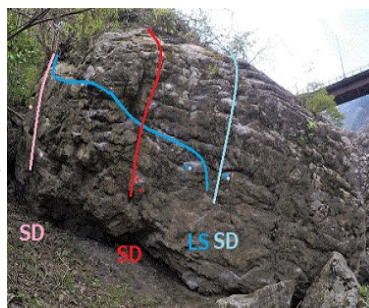


●O 岩

トポ左:上流側 トポ右:下流側

A 岩の上流側にある、新たにトライしたボルダー。昔、高さがなかったためか、下が埋まっていたのか定かでないが、気にも留めなかつた岩。

上流側は何とか想定ラインはクリアーできた。青のトラヴァースライン(課題名:スマレ・トラヴァース)がムーヴがあり面白い。



下流側はホールドが細かくて難しく、赤ラインの SD 課題と青のスタートホールドからリップを使わずに右までトラヴァースするラインは未解決。

●P岩(右岸の岩)

適当なところから、飛び石伝いに右岸に渡り取り付けたが、不可能のようである。現在はS岩から右岸を辿ったほうが良い。

両手カチから、右ヒールで思い切って右奥のホールドをとる。

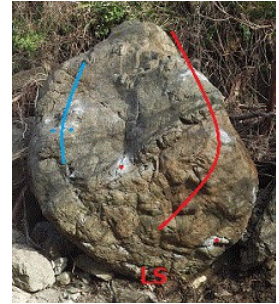


●Q岩

とうげん橋下の小さなチャートのボルダー。

昔は全く興味が湧かなかったが、少し整備してみたら、面白いライン(赤)が見えたのでトライしてみた。

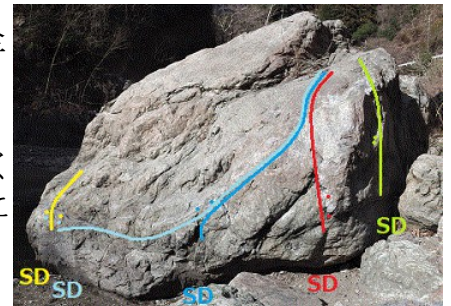
赤ラインがムーヴがあり面白い。



●R岩

とうげん橋の真下、Q岩の川側にある大きな岩だが、最初は全く対象と考えていなかった。よく見ると課題ができそうなので、下地を整備しトライしてみると、意外と手強かった。

水色ラインが面白く、ヒールを多用しながらトラヴァースしていくのだが、身体が下げにくく、腕と肩にくるので、故障している身にとっては辛かった。

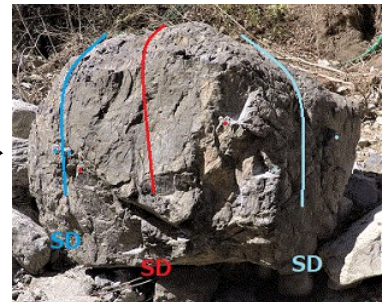


●S岩

R岩の対岸にある小さなボルダー。

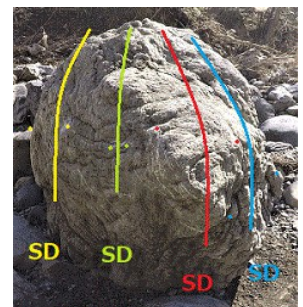
浮石が少しあったが落としたので、多分大丈夫と思われる。

右のカンテの下の方のホールドからスタートする課題(赤と水色ラインの間)は、できそうでできず未解決。



●T岩

R岩の少し下流左岸の川沿いにある小さなチャートのボルダー。



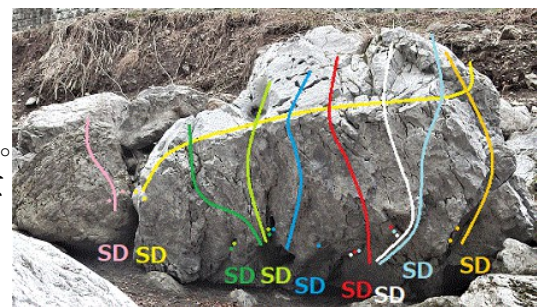
●D岩

昔トライしたボルダー。下地を少し整備した。

大きくはないが、SD課題が沢山あり面白い。

課題的には、赤と青と白ラインがムーヴがあって面白い。

昔、簡単に登った課題も、今では必死になれて、ある意味再度楽しめて良かった。

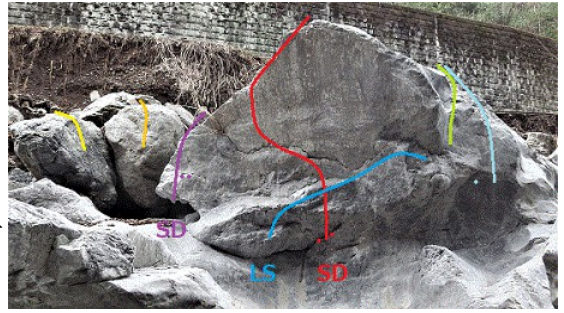


●E岩

昔トライしたボルダー。下地が悪く、落ちて転がると川まで行きそう。

青ラインから黄緑ラインに繋げたいが、全くできず未解決。下を見るとやっぱりトライはしたくない。

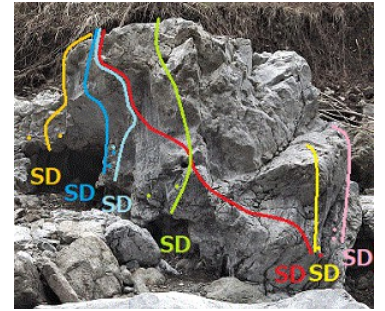
この岩の周辺は、白い石灰岩がきれいで、昔の深く碧い淵は土砂で埋まってしまったが、のんびりできて気持ちが良いところである。



●F岩

昔トライしたボルダー。以前は岩全体に蔓が絡まっていたが、台風できれいに洗われ見栄えの良いボルダーになっている。

難しい課題はなく、ウォームアップに良いが、ちょっと高さがあり、下地もあまり良くないので、クラッシュパッドは必ず使用したほうが良い。

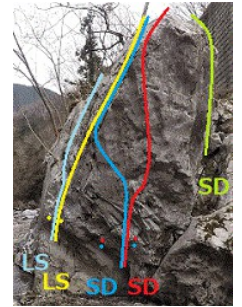


●G岩

昔トライしたボルダー。3本ほどあった課題のSDトライを試みたが、青ラインの下部から直上するラインのホールドが何回も欠けて登れなくなったので、青ラインは赤ラインのガバから移っていくラインとした。

赤ラインが面白いが、右の岩は限定で不使用。

この岩の取り付きは、増水すると水没する可能性あり。

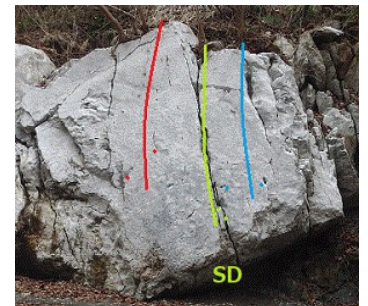


●H岩

昔トライしたスラブボルダー。苔が落ちてきれいになった。

中央のクラックのSD課題(手はクラックのみの限定)を追加した。

左右のスラブ課題も限定あり。



●I岩

昔トライしたチャートのボルダー。今は太い流木が挟まってしまい、現在はボルダーとしてトライするほどの岩ではない。

●J岩&K岩

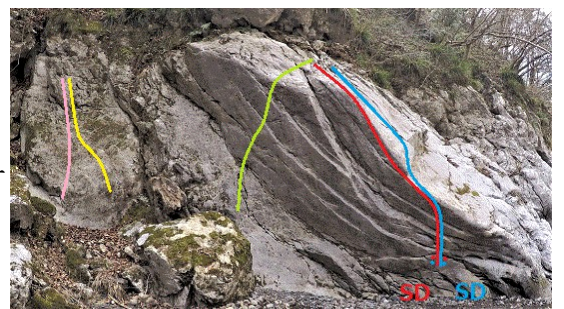
トポの左のスラブがJ岩 右の大きな岩がK岩

J岩は、昔トライしたスラブボルダー。現在苔が蔓延り、もう少しクリーニングが必要。

K岩も、昔トライしたハイボルダーで、赤(課題名:シークレット・パラダイス)と青ラインが昔登った課題。

カンテを左上する赤ライン課題はお勧めだが、もう少し掃除が必要と思われる。

新たに追加した黄緑ラインは易しいが、左下に岩があるので、落ちた時には注意が必要。



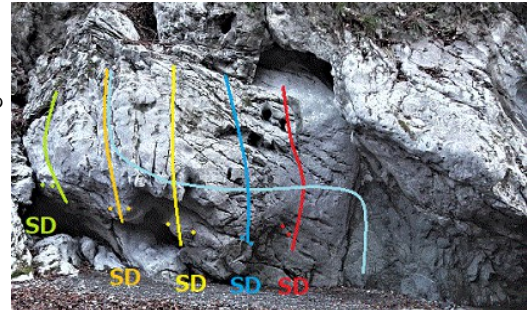
●L岩

昔トライしたボルダー。その後、下地が水没していたが、台風によりまた砂地が現れた。下流側に少し水溜りがあったが埋めたので、また右端まで取り付けるようになった。

オレンジ、赤、水色ラインが昔の課題である。

下流側にハングがあり、未トライだが難しい課題ができそうである。

増水すると下流側の取り付きが水没しそうなので、渇水期を狙ってトライするとよい。



●M岩&N岩

トポの左奥がM岩 右手前がN岩

以前は下が水面で取り付き不可能であったが、台風後、ボルダーの前に砂地が現れた。今回下地を整備しトライできるボルダーとなったが、今後、台風等により再度取り付きが水没する可能性あり。

M岩は、部分的ではあるが、見た目と裏腹に脆い部分が多く、上部の浮石部分を落としたため、ちょっと見た目が悪くなってしまった。

一番右の水色ラインは、落ちた場合危険なので、右の棚に出ないように、また上部は左に移るようにして抜ける。

N岩は白くきれいなマッシュルームのようなボルダー。

ガバが多く、易しそうに見えたが、出だしが被っており、ホールドが丸く方向も悪いので、意外と難しかった。

課題はそれぞれムーヴがあって楽しめるが、緑ライン(課題名: 鵜の目鷹の目)がおすすめ。

このボルダーは、ライン取りを変えれば、難しい課題ができる可能性がある。

